

苺の需要は食生活の向上に伴ない、生果用、加工用共に急速に増大しつつありますことは皆さんご存知の通りであります。

品種に取りかわつて主要な品種となり、東北、北海道では、この暖地向の品種は現在ほとんど市場には姿見ることができない。

の強いこれからの中として推奨いたしました。

収量も多いので、火山灰地苺作りは幸玉を  
おすすめいたします。

苺の栽培にあたつて留意しなければならないことは、優良品種の選定と適期の定植

苺の栽培にあたつて留意しなければならないことは、優良品種の選定と適期の定植であると言えましょう。

ようになつてまいりました。  
では、今年雪印種苗で取扱い販売いたし  
ます品種を中心に、その特性等について説

(二) 幸玉(一名砂糖毬)  
す。 収量の比較を表示しますと第一表の通りで

戦後本種が出たため北海道、東北北部地方の苺の品種はモナークは忽に姿を消し、現在では本種が大部分をしめるようになりました。

# 苺の優良品種と苗の定植



第一表 収量比較表

品種名	熟期	糖度	(二年株収量 一株当たり)	平均果重
東北一号	早稻 々	中	全 全	八五%
ドルセツ	ド ル セ ツ	フルクス	アツ クス	二年 株
フエアフ				

たることはあ  
りませんし、食味も良く収量も多い。草勢

収穫後期にな  
つても大きな  
実が取れま  
す。色も美し  
い紅色で黒く

果形は大き  
く、玉揃いの良  
くフエアフ  
ックスと比較して肩  
異常にすくなく、  
収穫後期にな  
っても大きさが  
実が取れます。  
す。色も美しく、  
い紅色で黒く

の実生より選抜された草で、フェアファックスの改良種といわれております。

東北農試園芸部  
スメドルセット

(1) 幸玉(一名砂糖苺)

（）  
ブエアブックズ  
戦後本種が出たため北海道、東北北部地  
方の苺の品種はモナーチは忽に姿を消し、  
現在では本種が大部分をしめるようになり  
ました。

(四) ドルセット  
この苺は今から二十六年前米国メリーランド地方にて改良作出された代表的な寒地型の苺です。果実は大変大きく実はよくしまり、遠い輸送にも耐えます。食味は大変甘く、適当な酸味もあり、生食用としては風味最良です。草勢はきわめて強く収量も多く反當七〇〇貫くらいは収穫可能であります。この苺の唯一の欠点は、収穫後すこし立つと黒くなることと、一番果以下が一番果に比較して極端に小さくなることです。しかし今後共北海道の主要品種として栽培は欠くことができない苺です。

本種も前種と  
草勢などは前者

本種も前種と同時に発表された品種で、草勢などは前者によく似ておりますが、収量は若干下廻る程度です。しかし本種は色がよく、成分酸味もありますが玉搾りは整一であり、収穫は前者よく数日早く、前者と共に栽培すれば経営の合理化も可能ではないかと思います。

最近関東・東北にかけて急速に増反されている品種で、形も大きく、美しい色をした味の良い苺です。

本種は、千葉の石原幸一氏によりドルセットとフェアファックスの組合せ寒生より選抜育成され、昭和二十八年農林省登録品種となつた梅です。生育は旺盛で火山灰地でも良好に育ちます。果実は大きめ、果色は

(一) 莓の生育と環境について  
　　莓は温度に対してもきわめて適応力が強く、品種さえ選定すれば北は北海道、南は九州生育と環境について簡単に説明いたしました。

二 茎苗の定植について

本種は米国より七八年前に本邦に入り、た品種で、各地の試作の結果、良い成績がえられたので今年より発売いたすことになりました。この苺は、一果重が大で、色も鮮かな紅色で美しく、肉質しまり、日持ちも大変良く、高級品種として、面白い存在です。熟期はフェアファックスより若干おくれるようです。

(乙) ロビンソン  
眞赤なさざれいた色で、早く見形に矢印錦形で  
す。味もきわめて良く、日持ちも良く輸送  
中のいたみもありません。将来性の十分に  
ある母です。熟期はフェアファックスなど  
と同時期です。



葛幸玉

三度(℃)くらいで、茎葉発育花芽分化には、日中一五~一七度(℃)、夜間七~八度(℃)くらいの温度が必要です。低温に対しては比較的の抵抗力強く、地表面(=五~六度くらい)までは正常な状態を保持しておりますが、寒冷地で積雪の少ない所では、冬季間地表面の温度がこの限界点より下がるので畠全面に四~五寸くらいの厚さで敷藁いたしま

ぐことができ

ぐことができ

り、收量はあくまでもそこそこなん。雨が多すぎますと病気の発生が多い傾向にあります。

A black and white photograph showing a dense, low-lying ground cover of small, rounded plants, likely a type of grass or ground ivy, growing in a shaded area.

栽培地帯の風景（青森県の開  
穫後は雑草に理し株にす。苺の苗が本葉は株の発  
結実に好 今秋の品

草を十分に除却し、ランナーを整  
理する。十分栄養をあたえて充実させま  
ず、花芽分化は、北海道では九月中旬  
から始まる。六七枚くらいの時で、それまで  
育てを十分させておきますと翌年の  
影響を与えます。

三度(℃)くらいで、茎葉発育花芽分化には、日中一五~一七度(℃)、夜間七~八度(℃)くらいの温度が必要です。低温に対しても比較的の抵抗力強く、地表面(?)五~六度くらいまでは正常な状態を保持しておりますが、寒冷地で積雪の少ない所では、冬季間地表面の温度がこの限界点より下がるので畑全面に四~五寸くらいの厚さで敷藁いたしますと寒害を防ぐことができ

(iv) 定植時には、堆肥等の有機物をすくなく  
地栽培では、畦幅六〇cm、株間三〇cmは是非必要で苗の所要本数は一〇坪(反当)五、四〇〇本は必要になります。

(v) 施肥について

栽培様式により異なりますが、一般的露地栽培では、畦幅六〇cm、株間三〇cmは是非必要で苗の所要本数は一〇坪(反当)五、四〇〇本は必要になります。

あまりおそらく一〇月に入つてから定植は、良く苗が活着しないうちに寒さで土が凍上し根が浮上つて枯死することが多いようです。

(一) 土壌の整備と施肥  
土壌の整備は、耕作深度を約20cm以上に保つこと、地面を滑らかにすること、排水性をよくすること、根の生育を容易にするために、土壌の構造を改良すること等が主な目的です。また、肥料の供給も重要な要素で、有機肥料（堆肥）と無機肥料（硫酸アモニウム等）を適量混和して施用すると、植物の成長が促進されます。

(二) 定植時の注意  
植付けは、土壌が乾燥しない状態で行われます。そのため、植付け後は十分な灌水が必要です。また、植付けの深さは、根の発達を考慮して適切な深さ（約5-10cm）で行います。また、植付け後は、根の成長を促すために、定期的に追肥を行います。

(三) 病害虫対策  
病害虫対策は、栽培方法による予防と、発生した場合の治療が主な内容です。栽培方法としては、適度な灌水と通気性の良い土壌管理が挙げられます。また、発生した場合は、農業用殺虫剤や除草剤を使用する場合があります。



## マット栽培地帯の風景（青森県の開拓地で）

ダ	ド	フ	幸	東	品
ル	エ	ア		北	
ナ	フ	ア		一	名
セ	ツ	ツ		号	
ツ	ク	クス	玉		
ト	ス				
タ	タ	タ	タ	百	単
				株	位
八	六	六	一、二〇〇円		価
〇	〇	〇	〇	〇	格
円	円	円	円	円	

三 その他の管理

萬の  
般管理について最も大切なことは、果実の収穫後の手入れです。果実を収穫後は雑草を十分に除却し、ランナーを整理し株に十分栄養をあたえて充実させます。母の花芽分化は、北海道では九月中旬苗が本葉六~七枚くらいの時で、それまでは株の発育を十分させておきますと翌年の結果に好影響を与えます。

とも五六〇〇貫(二千二千四百石)を植溝に施し足で十分に踏みつけ、その上にすこし土をかけ苗が直接肥料にふれぬよう注意して下さい。なおこの際過磷酸石灰を堆肥と共に混合して施用すると根の張りが良くなります。硫安等の速効性の窒素